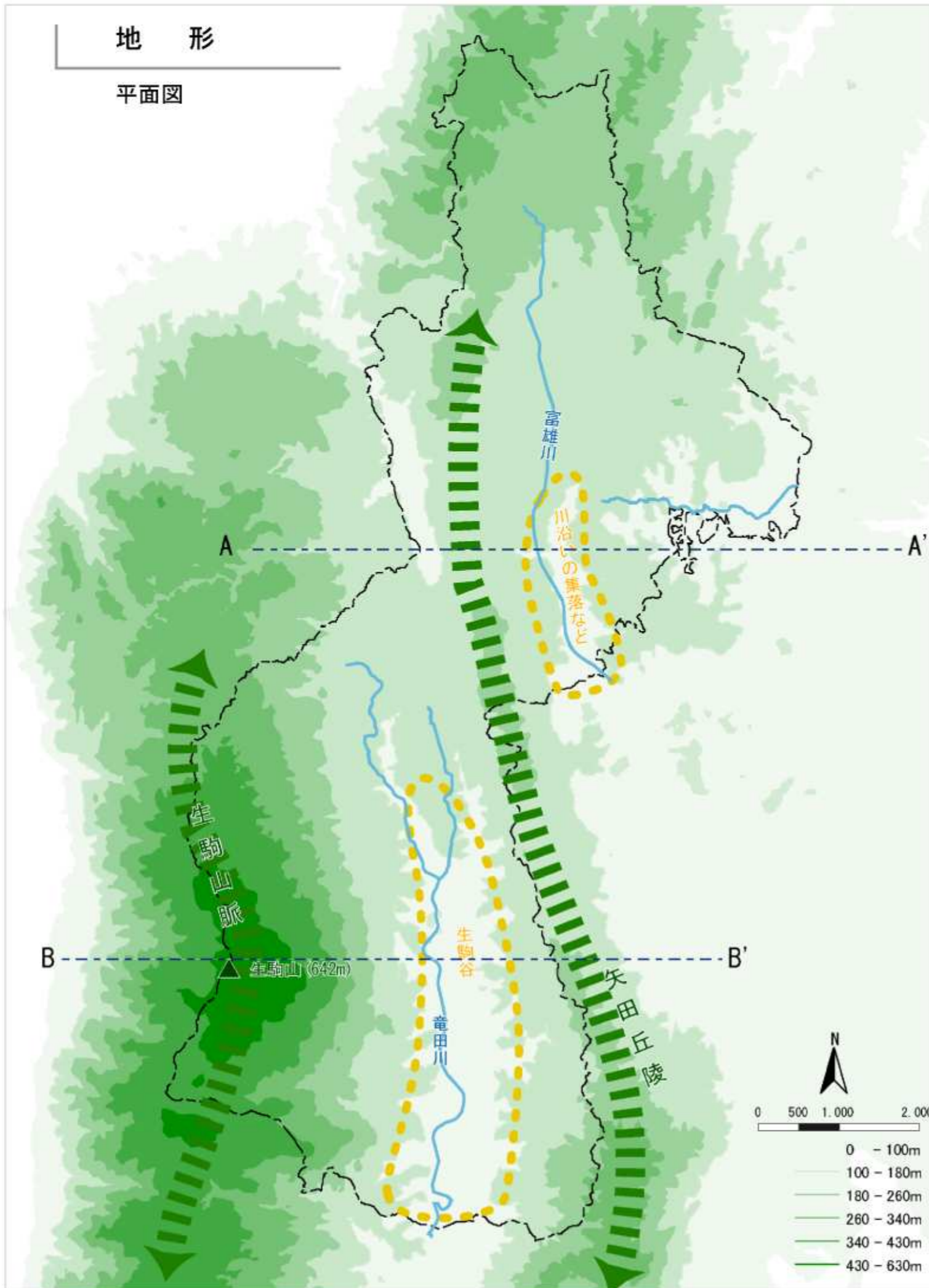


地形

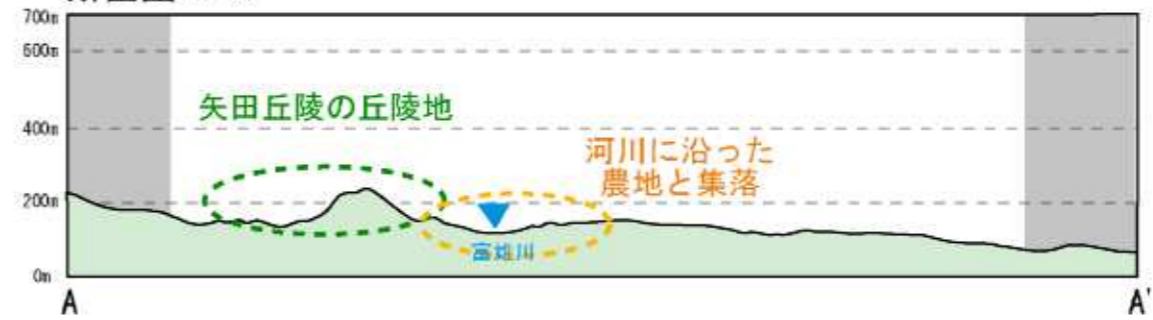
平面図



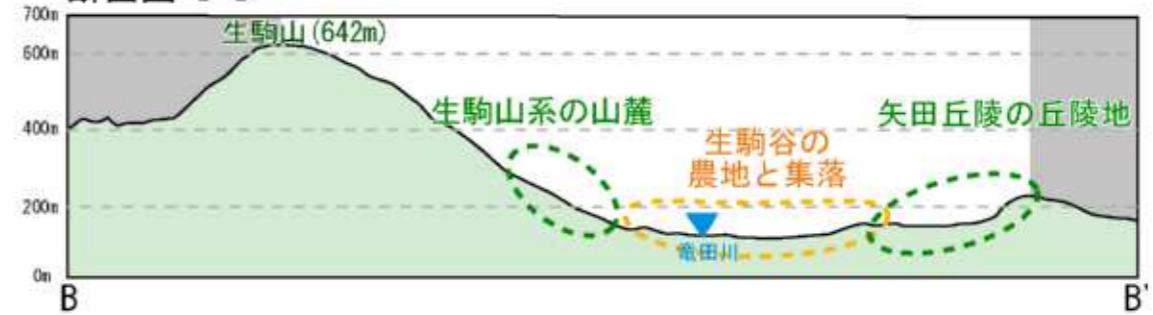
参考資料

生駒山脈と矢田丘陵に挟まれ、その間に谷が形成され、景観の骨格となっています。
北の谷には富雄川、南の谷には竜田川の、二本の川が流れています。
谷間の狭い平地に農地や集落が立地しており、特に南部の谷は生駒谷と呼ばれています。

断面図 A-A'

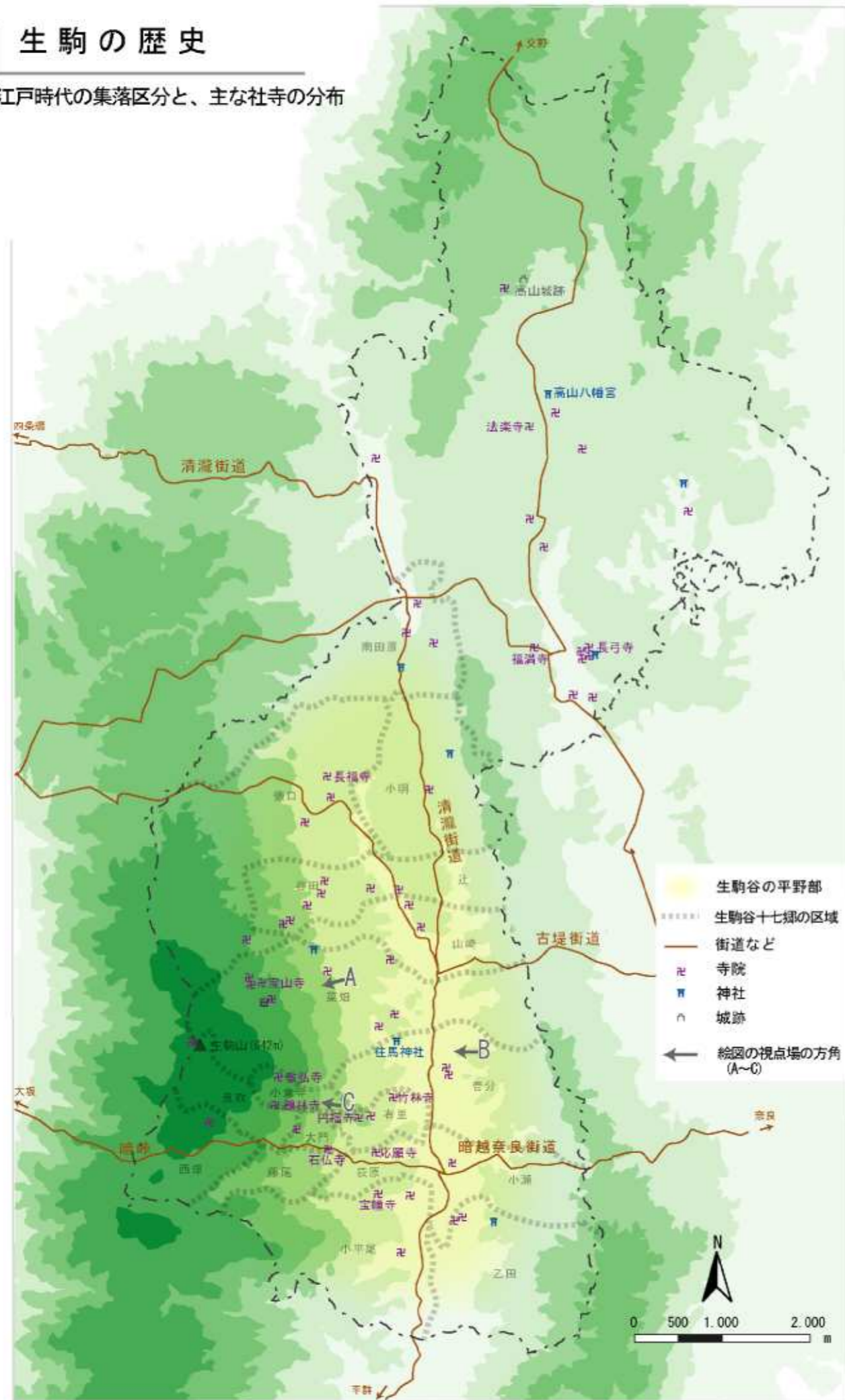


断面図 B-B'

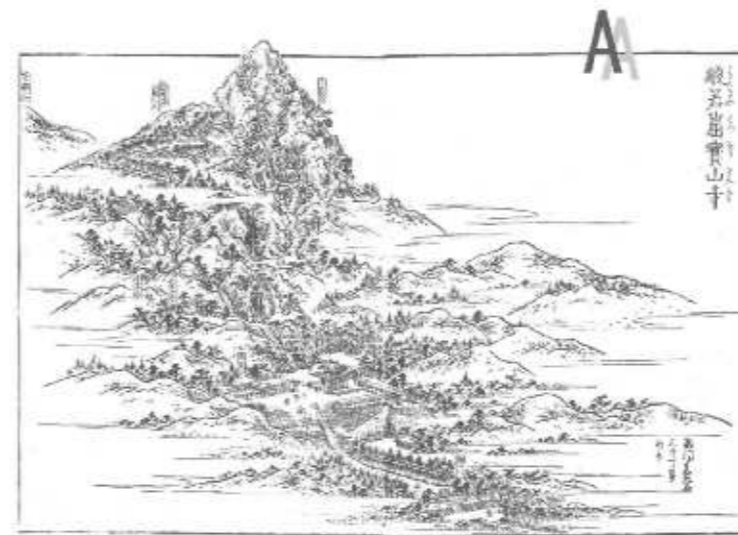


生駒の歴史

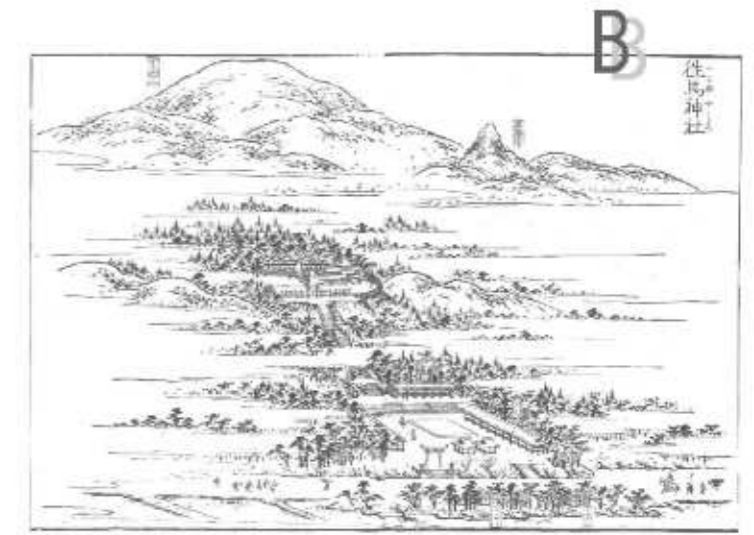
江戸時代の集落区分と、主な社寺の分布



生駒谷の原風景



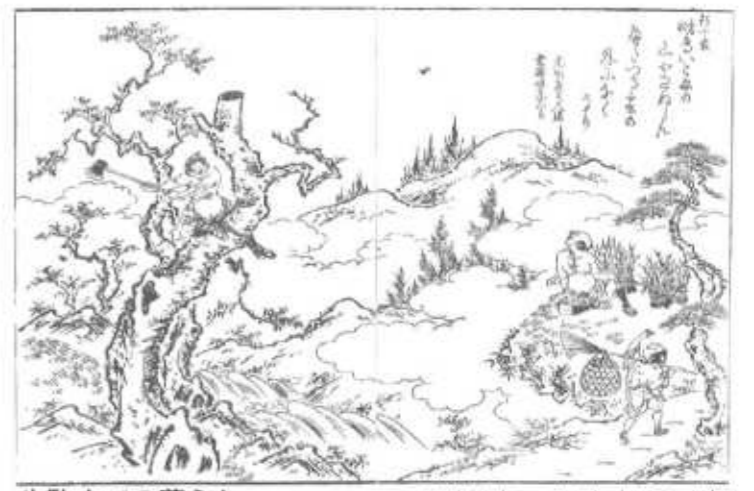
宝山寺



往馬大社



鶴林寺

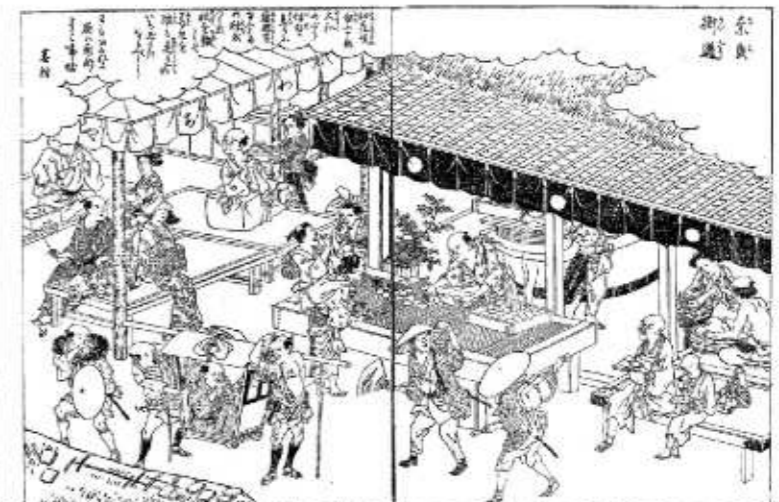


生駒山での暮らし (1801年 河内名所図会)

生駒山は霊力のある山として知られ、修験者が修行を積む場所でした。往馬大社周辺は、古代の生駒谷の中心地でした。



棕嶺(暗)峠



奈良街道の様子 (1791年 大和名所図会)

暗峠は、大阪と奈良をつなぐみちとして、にぎわいました。

市街地の変遷

時間

明治41年

大正3年
生駒トンネル貫通
大軌電車開通
(奈良～上六)

大正7年
生駒ケーブル開通
(鳥居前～宝山寺)

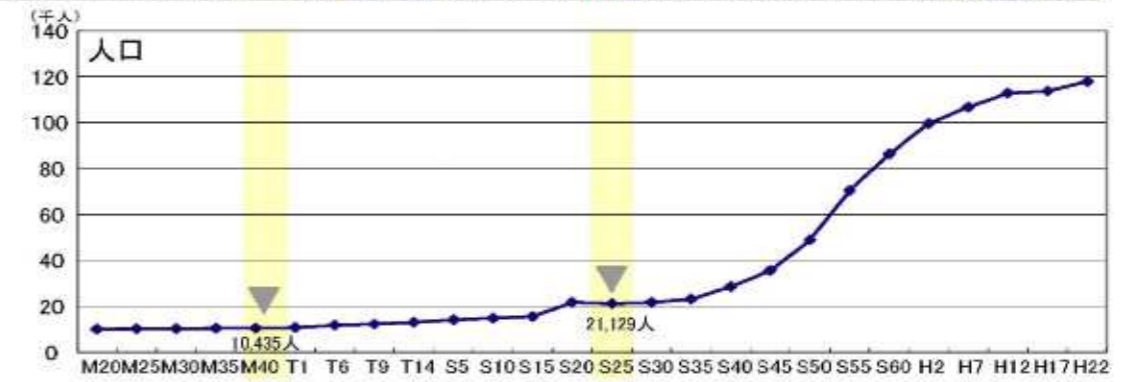
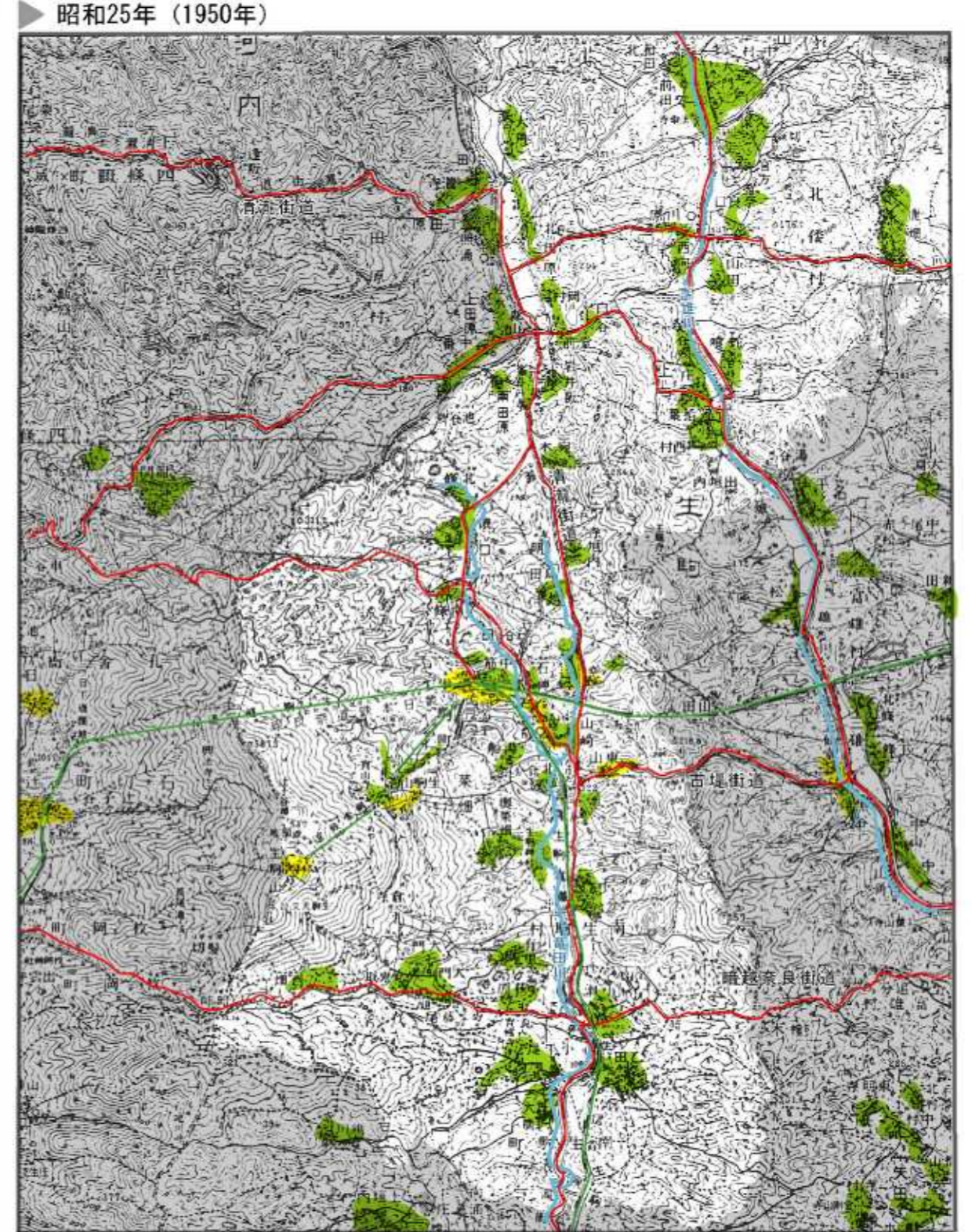
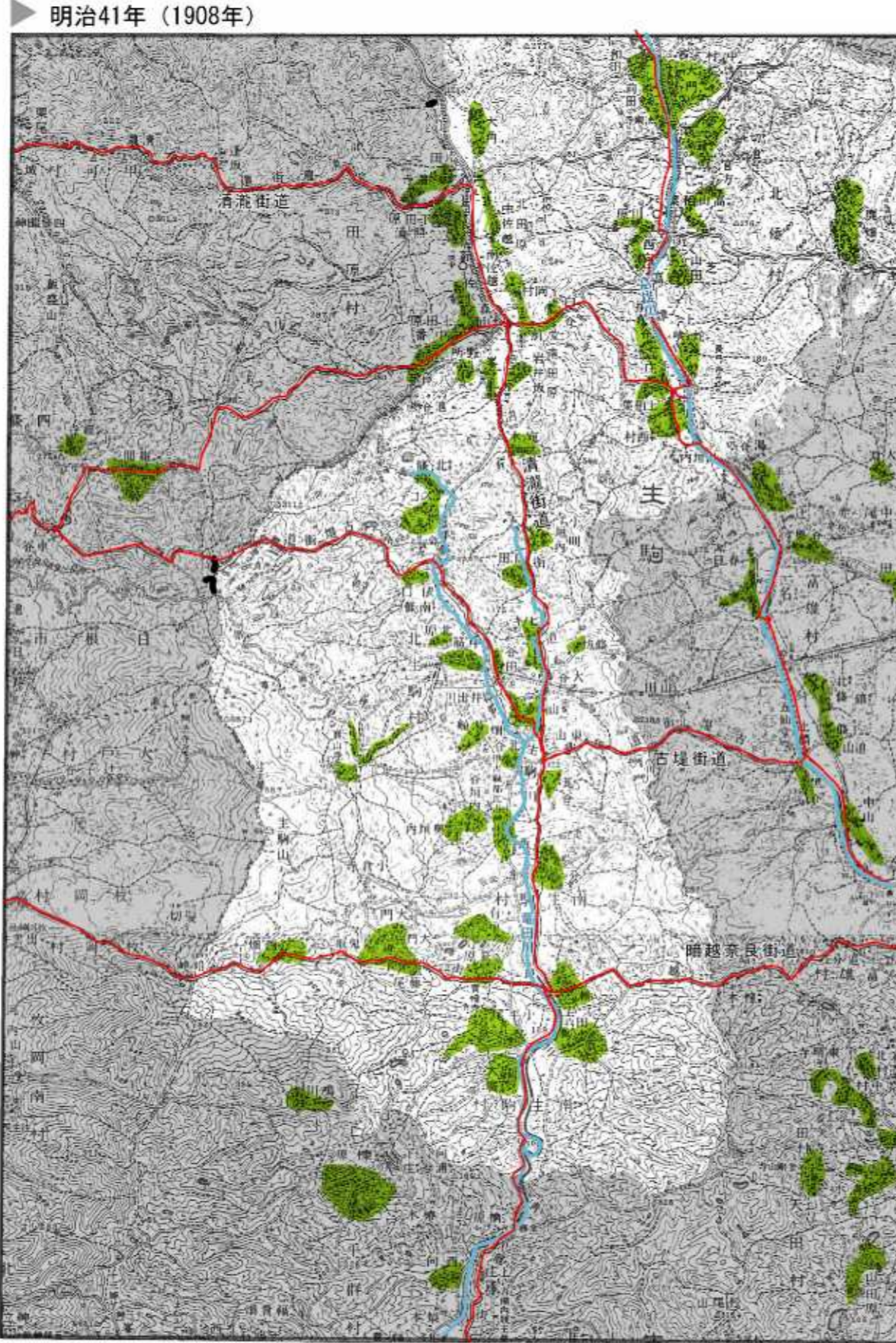
大正8年
乗合バス開通
(高山～富雄)

大正14年
生駒登山自動車開通
(生駒駅前～宝山寺、
生駒駅前～私市)

昭和4年
生駒ケーブルカー、
生駒山上まで延伸

昭和25年

- 基盤
- 街道
 - 鉄道
- 集落
- 既存集落
 - 拡大部分



(日本図誌大系 近畿Ⅱ)

市街地の変遷

時間

昭和37年
生駒台住宅地造成完了

昭和39年
信貴スカイライン開通

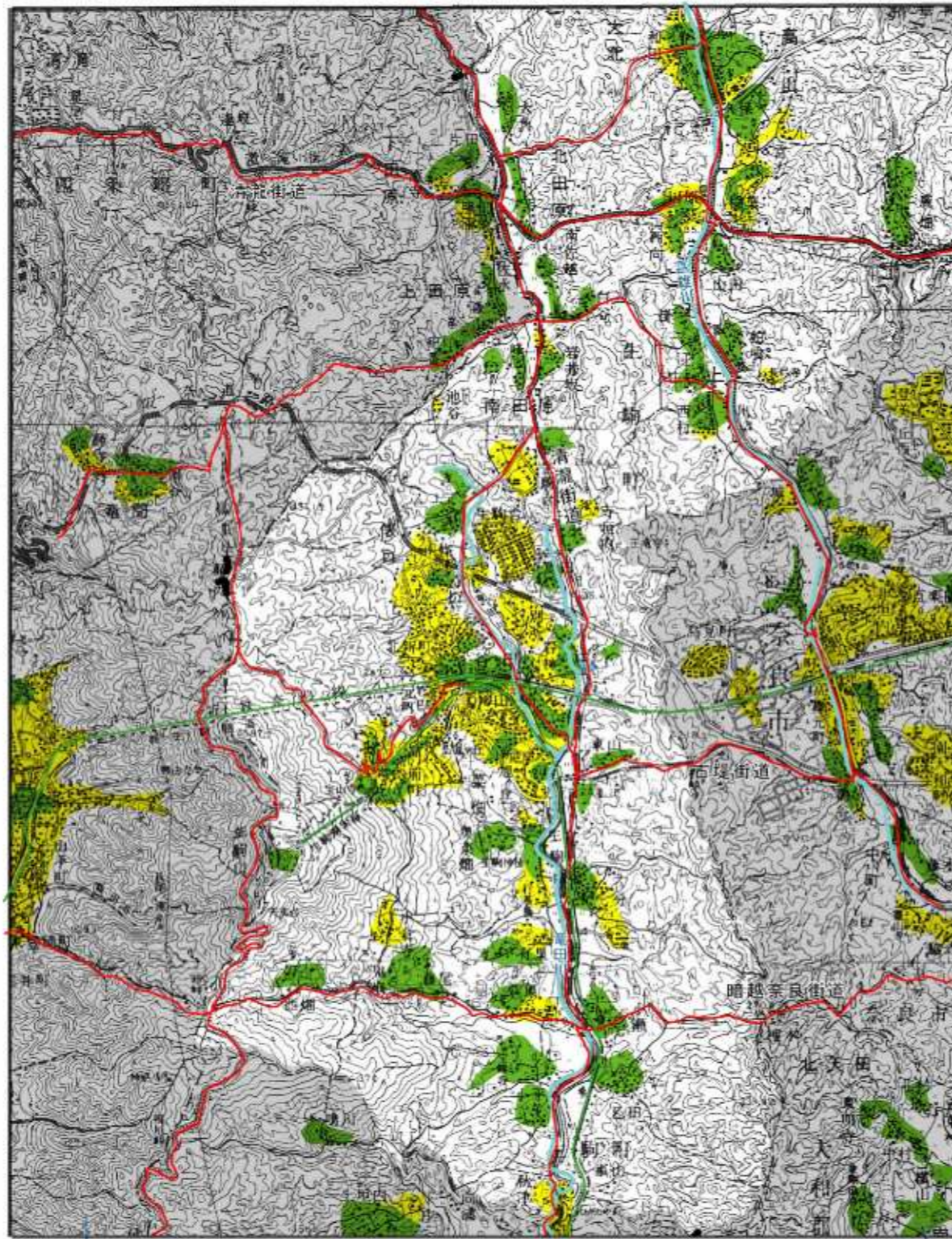
昭和43年

昭和44年
国道163号完成

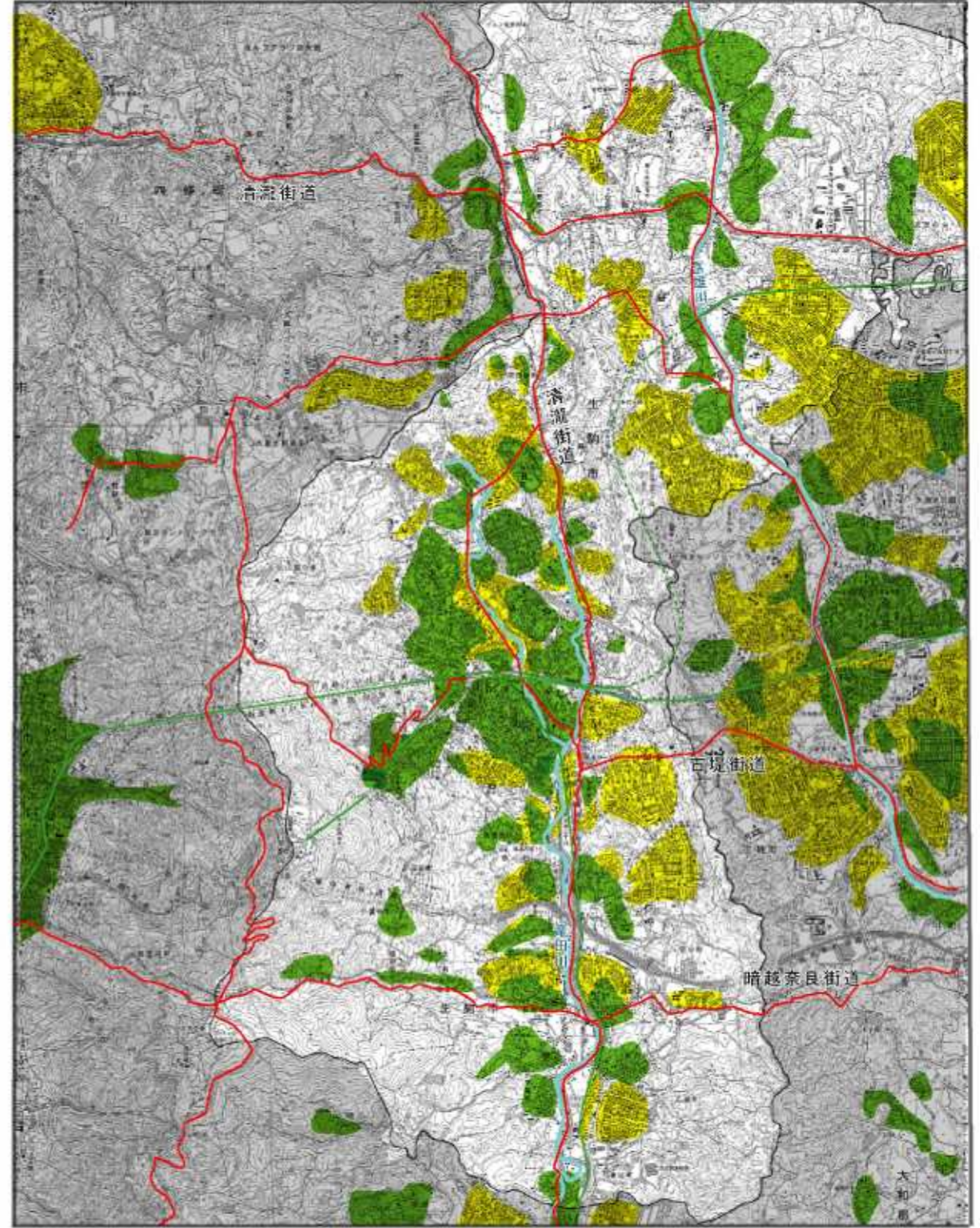
昭和46年
生駒市政施行

平成21年

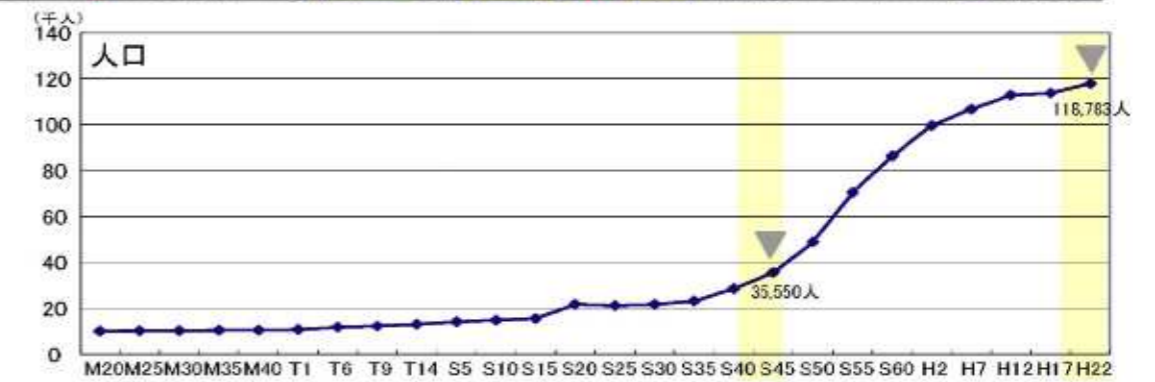
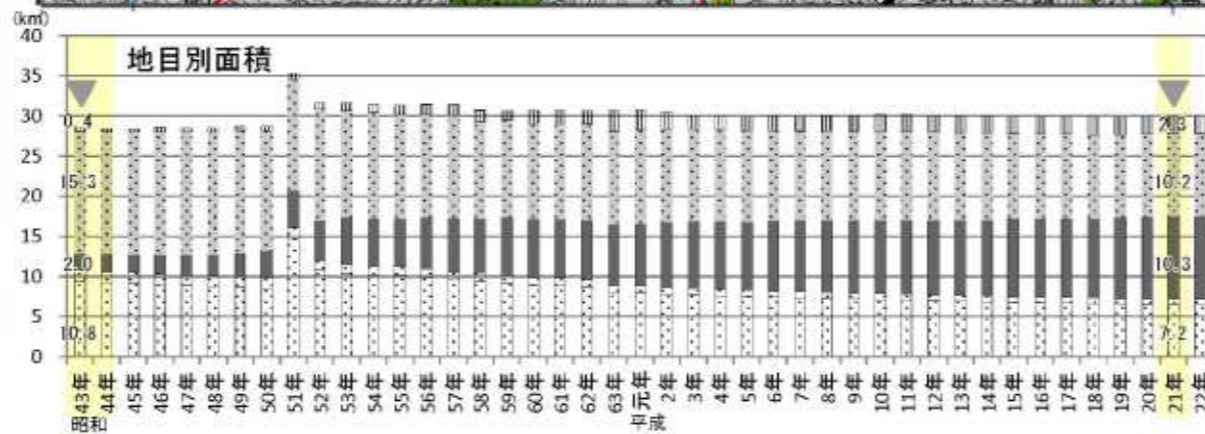
昭和43年（1968年）



平成21年（2009年）現在



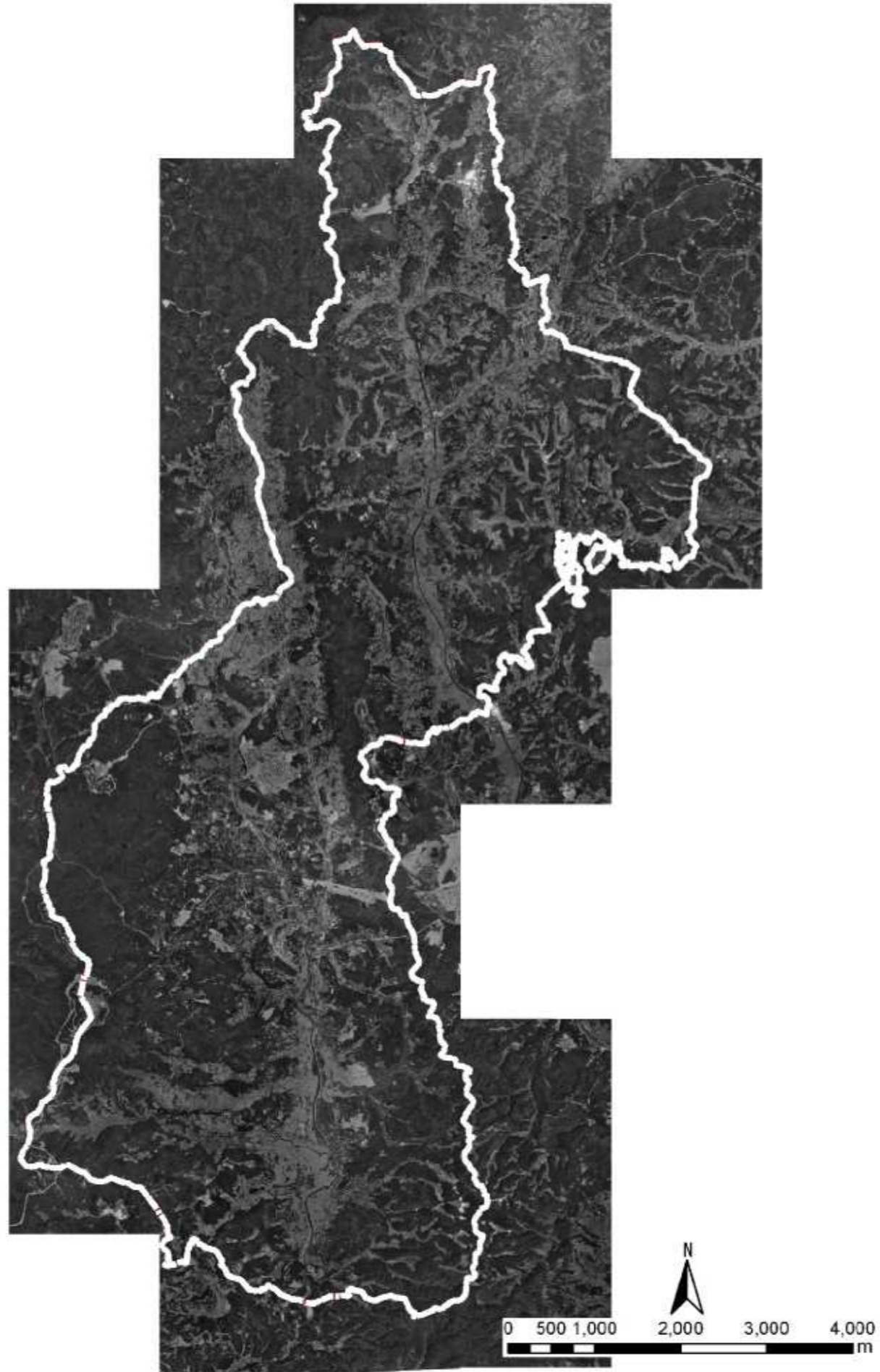
- 基盤
- 街道
 - 鉄道
- 集落
- 既存集落
 - 拡大部分



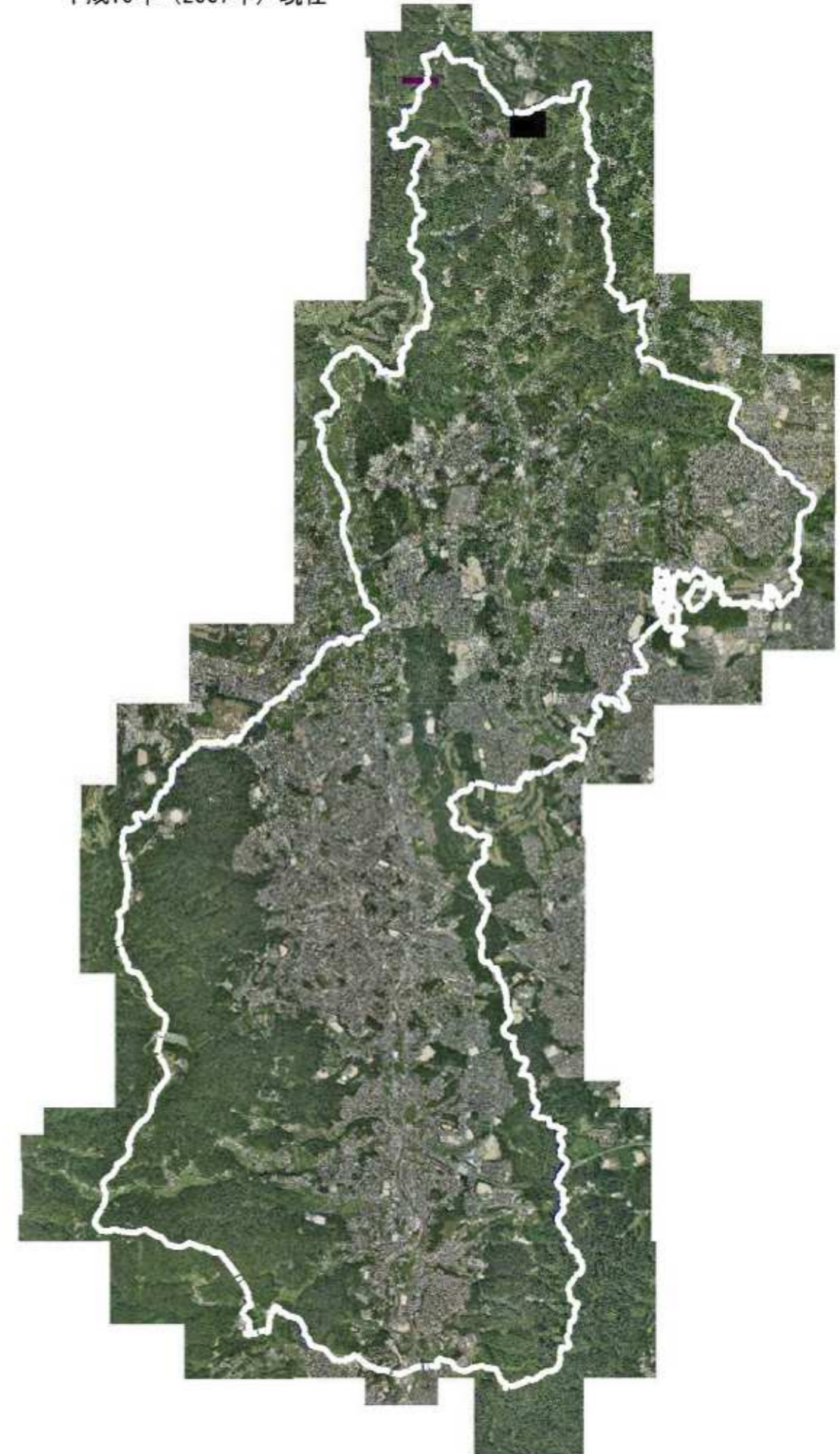
(日本図誌大系 近畿II)

市街地の変遷

昭和39年（1964年）



平成19年（2007年）現在



絵図と写真で見る変化

宝山寺の様子



▲ 宝山寺 (河内名所図会)



▲ 宝山寺の周辺の家屋 (S4)



▲ 現在

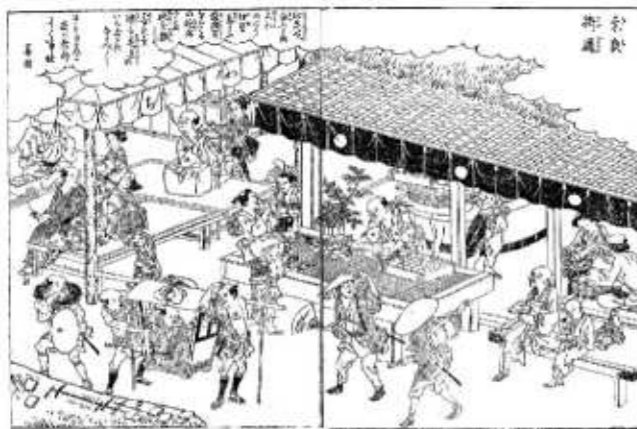


▲ 宝山駅周辺 (S40)



▲ 現在

奈良街道の様子



▲ 奈良街道の様子 (大和名所図会)



▲ 暗峠の様子 (S38)



▲ 現在

生駒駅南側の様子



▲ 生駒駅周辺の風景 (S61)



▲ 現在



▲ 生駒駅南側 (T7)



▲ 現在

生駒駅北側の様子



▲ 生駒駅南側の風景 (S56)



▲ 現在



▲ 生駒駅北商店街 (S45)



▲ 現在

(大和郡山・生駒の100年、目で見る大和路)